

年 組 名前：

問1

YouTube で注目音楽ユニット showmore(ショウモア)。どのような思いを込めてユニット名を付けましたか。

.....

.....

.....

.....

問2

ボーカルの根津まなみさんは、小学生時代から、どのような形で音楽に接していましたか。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

問3

今後の2人の目標と意気込みを、書いてください。

(2022年5月20日付 山梨日日新聞 15面)

.....

.....

動画投稿サイト「YouTube (ユーチューブ)」に投稿した楽曲「circus」のミュージックビデオ(MV)が、680万回再生(5月19日現在)を超える注目の音楽ユニット showmore(ショウモア)。山梨市出身のボーカル根津まなみとキーボード井上惇志(北海道出身)の2人が、特定のジャンルや流行にとらわれず、ジャズやR&Bをベースにした洗練された曲に叙情的な詩をのせて届ける。 <相沢光>

根津^(山梨出身)ボーカルの showmore 叙情的な詩 曲にのせ

当初は4人組だったが、2017年に2人体制に移行。ユニット名は「しょうもない」をもじったもので、「きれいごとだけではなく、人間のしょうもないところも肯定したい」という思いを込めた。プロデューサーを兼ねる井上は「大衆受けを狙った曲ではなく、自分たちがカッコいい、美しいと信じたものを作り続ける」と語る。

2人の出会いは山梨県内での音楽イベント。根津の歌声に魅了された井上から声を掛けた。ソロ活動にこだわっていた根津は、井上の実力を認めた上で「一緒に音楽をやることで個性がぶつかり、井上の才能に影響を与えてしまうのが怖い」と断った。だが井上は諦めきれず、将来の目標を掲げた「事業計画書、まで作り熱烈にアプローチ。ついに根津の首を縦に振らせた。

歌手の夢を抱き上京

根津は小学2年から高校3年までピアノを習い、山梨南中と山梨高では吹奏楽部でホルンを担当。演奏を通じて漠然と「歌手

になりたい」という夢を抱くようになった。「東京に出れば好きなことができる」と都内のピアノ調律の専門学校に進み、学業の傍らで弾き語りなどの音楽活動にも打ち込んだ。

一方、音楽に無関心だった井上。高校の同級生で、後にプロのサクソ奏者となった吉田野乃子から前衛的なジャズを勧められ、音楽に目覚めた。キーボードを始め、進学した北海道大ではジャズ研究会に入った。大学卒業後に上京したが、就職先が入社5年目で倒産。バンドなど音楽活動を続けていた井上は音楽で生きていくことを決めた。

ユーチューブで反響

18年に初アルバム「overnight」を発売。収録曲「circus」は「夜にリピートしたくなる曲」とユーチューブで視聴数を伸ばし続ける。井上は「予想以上の反響に驚いている。長く愛される楽曲になり、うれしい。

21年10月には「人生」をテーマにした3

作目のアルバム「seek」を発売。新型コロナウイルスの影響で好きなライブハウスや飲食店が閉店するのを見てきたことから、苦境に立ったり無念の思いを抱いたりした人の人生を描いた楽曲も収録した。日々移ろう世界の中での変わらない愛を歌った「I love you」のMVは笛吹市などで撮影した。

2人の次の目標は全国各地を巡るライブツアー。「今聴いてくれるファンを大切に、自分たちの音楽を確かなものにしていきたい」